

今回の東大研修、大企業訪問を通して私は今まで以上に世の中の最先端をきっている世界について興味を持つことができました。東大研修に行く前は自分の定期テストの結果と順位にとらわれて「私なんかが東大研修に行っているのだろうか。」「どうせ一生に一回限りの場所なんだろうな。」という感情が強かったです。そして東大研修にもあまり乗り気ではありませんでした。でも、この東大研修、大企業訪問に行くことで今回関わった人達の輝かしい姿やするどい思考力にとても魅力を感じました。

その中でも私が特に印象に残っているものは、新日鐵住金への訪問と二高生 OBOG による懇談会と企業訪問で訪れた順天堂大学教授の天野さんとのお話しです。新日鐵住金で働いている二高生の先輩方のお話は高校生時代どのような生徒だったか、そしてどの大学に入ったかをはじめ新日鐵住金の中でもどのような仕事をしているか等様々なことを話してくださいました。私は自分の通っている学校からこの様な大企業に就職している先輩がいると知って自分がこの仙台二高の生徒であることに誇りを持つと同時に先輩方のような社会を引っ張っていくような人になりたいと思いました。そして、新日鐵住金の方々と、今の私達の頑張っていることが社会の何に役立つかということテーマに様々なことをお話ししました。この話し合いをすることで、同じ二高生が何を考えているのかがよくわかりました。そして自分は世の中のために何ができるかなど色々なことを考えるよい機会となりました。私達の班では「チームワーク」が世の中に出ると必要になると思うので、今頑張っている部活でのチームプレイ、団結力を大切にすることや部活での先輩や顧問の先生からのアドバイスや連絡などの情報を仲間の1年生と共有することがそのまま「チームワーク」に繋がるのではないかと考えました。私はこの考え方にとても共感したので、これからの部活や学校生活でもこの考えを活用したいと思います。そして他の班で話し合われたことを聞いて、自分にはなかった新しい考え方や自分の班とはまた違った視点からみた考え方がたくさん出てきたので自分の考える力、他の視点からみるという力を養えたように感じられました。ホテルの夕飯後にあった二高生の OBOG による懇談会では、東大生の先輩方の知られざる高校生時代の話や今の社会の抱える問題など熱く語っていただきました。東大生の方とお話していると東大生の方の語彙力が豊富なために話や主張に吸い込まれていくようでした。中にはパソコンを使って自分の事をプレゼンテーションの様に紹介してくれる方もいました。そして東大生の方が使っている数学の教科書を見せてもらいました。そこには英文と複雑な記号が書いてある式のみが書いてありました。私はそれにとても驚きました。その教科書を見てすべての教科は繋がっていると共にどれも怠らず勉強するべきなのだと感じました。OBOG の方のほとんどが男性でしたが、中に一人だけ女性の方がいました。その方は高校生の時あまり学校に行かなかったそうなのですが、先生の支援があって東大に合格したとの話でした。そしてその方は「二高の先生は生徒一人一人に合う勉強方法や将来について考えてくれるところがいいところだよ。」とおっしゃってました。私はその話を聞いて、自分も今の成績にとらわれずなにか目標に向かっていけば必ず夢は叶うものなのだと分かり、改めて二高に来てよかったと思いました。

1 日目企業訪問で訪れた順天堂大学教授の天野さんとの話では、将来の医学に期待することや子供の頃の夢、患者さんとの接し方で気をつけていることなど様々な質問に答えていただきました。天野さんは私達の一つ一つの質問に丁寧に答えてくださって、高校生では分かりにくい表現も私達に関連するような例えを使ってわかりやすく説明してくださいました。それに加えて、質問に答えるだけでなく天野さん自らが質問してくださったり、自分の考えを私達に伝えてくださいました。私は天野さんに会う前に天野さんが書いた本を読みました。本からでも天野さんの外科医としての責任や患者さんを思う気持ちが伝わってきました。そして8月5日に実際に天野さんに会うと、本からでは伝わらない穏やかな笑顔と話す時の情熱が伝わり、この様な偉大な人が日本にはいるのだと感じました。そして私もいつか天野さんのような他人を第一に考えられるような人になりたいと思いました。最後にはお忙しい中写真撮影もしていただき、私達に最後まで暖かく接してくださいました。そして、企業訪問をしているあいだに班の仲間達とも仲良くなることができました。普段クラスが違うがために教室が遠く

て話すことができなかつた人達との会話はとても新鮮でよいコミュニケーションになりました。班長はみんなをまとめるために先頭に立って企業まで案内してくれたり、一人の班員は地下鉄の時刻表を自ら検索してくれたり、カメラを持ってきてくれたり写真を編集してくれたり、みんなが出来ることを率先して行ったところが良かったと思います。そして最後はお互い「ありがとう。」「お疲れ様でした。」と励ましの言葉をかけあい、私はいい友達と巡り会えたと思いました。

また、2日目の東大オープンキャンパスでは私は理学部の講義を聞きに行きました。最初私が聞きたかつた理学部の講義が何処にあるのかわからなかつたので東大生に場所を聞いてみたら、私たちが行きたいところまで親切に案内してくださいました。私は将来の目標や夢についてあまり考えていなかつたので、東大研修を終えてから自分の将来について考えるうになり、インターネットで調べるうになりました。調べていると、どの職業にも輝かしい部分はある、自分の努力次第で仕事は輝けるのではないかと思います。そのため私は自分のなりたい職業や仕事はありませんが、人や社会の役に立ち、そしてなによりも他人を思いやることのできる人になりたいと思いました。この様な人になることでどんな仕事についたとしても自分自身が輝けると思います。そのためにはまず今頑張っている部活で何事も諦めずに最後まで一生懸命やりとげ、困っている部員がいたら手を差し延べ、部員との和をこれからも大切にしていきたいと思います。そして勉強はまず自分の興味のある学問や分野を見つけて、それに合う大学合格のため受験勉強を頑張り、大学生になってから社会人としてのモラルや常識を学ぶと共に学問の知識を高めていきたいと思います。この東大研修に行かなかつたとしたら、今この様なことを考えることがなかつたかもしれません。東大研修に行ったからこそ、世の中の最先端をきっている世界を見たからこそ得られたものがたくさんありました。この経験を生かしてこれからの高校生活を充実したものにしたいと思いました。そして来年も、その後も私の様な将来についてまだ確定しているものがなかつたけれど東大研修に行くことで自分の将来について考えられるうになれた人がたくさん増えるように、東大研修が続くといいなと思いました。さらに、2年生の先輩方が京都大研修やアメリカ研修にいつていることを聞きました。それを聞いて私は是非2年生になったら京都大研修あるいはアメリカ研修にいつてまた自分に得られるものがあればいいなと思っています。これからも貴重な経験や自分の役に立ちそうなイベント、企画には積極的に参加しようと思います。本当に東大研修に参加することができてよかつたです。そして東大研修に協力してくださいました先生方や両親に感謝したいと思います。